

## 訪問入浴って…？ 浴槽を持ってくるの？

『訪問入浴』…名前の通り訪問での入浴です。このサービスは自宅のお風呂で入浴する支援ではなく、浴槽を部屋に設置して、部屋で入浴するサービスになります。

一般的には、看護師が1名と介助員が2名の計3名での支援になります。看護師がバイタル(血圧や体温等)を確認し、入浴の可否を利用者もしくはご家族と相談します。支援の時間は浴槽の設置や片付けを含めておよそ1時間程度になります。

スペースは畳1畳分で可といわれます。浴槽は組立て式で、訪問入浴車にはボイラーが積んであり、給湯設備のない家庭でも温かいお湯で入浴できます。ホースも団地や高層マンションでも対応できるような長さを準備している事業所がほとんど。言ってみればどんな家庭でも対応できるということです。

主には寝たきり状態で、自宅の浴槽に入るのが難しい、外出が難しくデイサービス等の利用が難しいといった状態の方が対象ですが、特に利用する方の要件は定められていませんので、要介護(要支援)認定を受けている方ならどなたでも利用できます。

ただ、少し単位数(金額)が高めなので、認定が軽い方の場合は利用できる回数が少ない可能性がありますので注意が必要です。

### ①全身入浴

⇒名前の通り全身湯に浸かることをいいます。訪問入浴では、洗髪や髭剃りもしてくれます。また、看護師が同行していますので、褥瘡(床ずれ)や皮膚疾患の処置も可能、かつ身体的な異常の早期発見も期待できます。

### ②部分浴・清拭

⇒足浴等全身の入浴でない場合や湯に浸からずに、全身あるいは部分的に拭いてもらうサービスになります。状態が良くない、体調不良等全身の入浴は負担が大きいと思われる場合は、こちらで対応する場合があります。

全身浴とは異なるため、料金的には若干安くなりますが、訪問するスタッフは変わりありません。

※事業所によっては“マイクロバブル”といった細かい気泡を発生する湯を提供したり、さまざまな入浴剤を使用したりと、利用される方に満足していただけるような付加サービスを提供しています。  
ぜひ一度お試しあれ！

